

I. 著者の資格

筆頭著者は順天堂大学教職員（非常勤も含む）、同大学院学生および順天堂大学の卒業生・修了生、研究生、専攻生、協力研究員の他、編集委員会で認めた者とする。筆頭著者と責任著者以外の共著者は順天堂大学に所属しない者でも可とする。

II. 投稿原稿の区分

原稿は和文または英文にて作成し、総説、研究論文、研究資料、実践報告、その他に大別して投稿する。他誌に投稿されている原稿や発表された論文は掲載しない。

1. 「総説」とは、特定の研究領域に関する国内外の研究を総括し、かつ、著者独自の見解を含む主要な論文の総覧で、単なる羅列ではなく、特定の視点に基づく体系的なまとまりであることを要する。
2. 「研究論文」とは、独創的研究で、十分な論証を経て価値ある結論を提示したもの、かつ、科学論文としての内容と体裁を整えているもので、未発表の資料に基づき新たに科学的な知見をもたらすものとする。
3. 「研究資料」とは、実験や調査等で得られたデータ等で、客観的な資料として価値が認められるものとする。
4. 「実践報告」とは、実践現場からの貴重な情報（事例）を詳細に報告した内容で、教育現場での指導や社会実装における取組、実用的なトレーニング法やコーチング法等に関する知見を提示したものとする。
5. 「その他」とは、上記1 から4 以外で編集委員会が必要と認めた場合、依頼原稿（学術講演会、ワークショップ等）、コラム、文献紹介、書評、学会報告、学位論文紹介等の項目を設け、原稿を掲載する場合がある。

III. 原稿の字数制限

1. 総説および研究論文は原則として、14,400字以内、英文では5,600語以内（刷上り8 ページ）とする。
 2. 1 以外の論文は目安として9,000字以内、英文では3,500語以内（刷り上がり5 ページ）とする。
- 図、表、写真等（刷上りは白黒とする）を挿入する場合はこれを字数に換算し、制限内に納めるものとする。字数を超過した場合、あるいは特殊な印刷を要した場合は、その実費を投稿者が負担する。なお、刷り上がりの1 頁の文字数は1,800字（目安）とする。

IV. 書式・執筆要領

1. 本文の書式

本文および図表を含む論文は、Microsoft-Wordおよび Microsoft-PowerPointを使用し記述する。A4判の白紙を縦置き、一般的フォント（明朝体等）を使用し、文字の大きさは 10.5ポイント、余白は25mm とする。頁番号は各用紙の下部の中央に打つ。和文原稿は、常用漢字、字体は明朝体で新かなづかいとし、句読点、括弧は1 字に相当するように全角で入力する（40字/行）。ただし、史料を正確に引用す

る場合等，特に必要な場合には，この限りでない。

和文原稿，英文原稿とも，単位は国際単位系（International System of Units）を用いること。

2. 図表，写真等

表のファイル形式は，doc，docx（Microsoft-Word），rtf（リッチテキスト），xls，xlsx

（Microsoft-Excel），pdf 形式（テキスト抽出できるもの），図のファイル形式は，pptx，eps（フォント埋込み済），pdf 形式（テキスト抽出できるもの），写真のファイル形式は，jpg，tif 形式（解像度300 dpi 以上が望ましい），pdf 形式（テキスト抽出できるもの）とする。ただし，投稿する際には上記ファイルを一括してMicrosoft-PowerPointにまとめて提出すること。

3. 付録資料

読者の理解を深めることを目的として，付録資料を投稿することができる。付録資料の取扱い，構成等については，別に定める順天堂スポーツ健康科学研究付録資料取扱規程によるものとする。

V. 執筆要項

1. タイトルページの書式

原稿の表紙に当たるタイトルページには，和文および英文とも横書きで以下の情報を記載する。

- 1) 原稿の種類（総説，研究論文，実践報告等）
- 2) 和文タイトル
- 3) 英文タイトル（最初の単語の1 文字のみ大文字とする）
- 4) 著者名（和文）
- 5) 著者名（英文）（姓は全部大文字，名は最初の1 文字のみ大文字とする）
- 6) 著者全員の所属（和文）
- 7) 著者全員の所属（英文）
- 8) 責任著者名
- 9) 責任著者の連絡先（郵便番号，住所，電話番号，メールアドレス等）
- 10) 図，表，写真の枚数，原稿字数を記載する。
- 11) キーワード3-5 語（和文）
- 12) キーワード3-5 語（英文）

2. 抄録

原稿の2 ページ目には抄録をつける。原則として，総説と研究論文は英文抄録，それ以外は和文抄録で可とする。抄録（Abstract）は目的・方法・結果・結論の構成となる。英文抄録については投稿前にネイティブチェックを受けなければならない。英文抄録には和訳も併記する。200語以内の英文抄録（Abstract）もしくは600文字以内の和文抄録とする。

3. 本文

- 1) 原稿は横書きとし，見出し番号は，原則 I. II. III. …，1. 2. 3. …，1) 2) 3) …，（1）

(2) (3) …, ① ② ③ … の順とする。研究論文等の本文の構成は原則として、和文の場合は、I. 「緒言（研究目的を含む）」、あるいは、「初めに」、II. 「方法（研究対象または材料を別項にしてもよい）」、III. 「結果」、IV. 「考察」、V. 「結論」、VI. 「文献」、VII. 「図・表説明文」とする。

2) 英文の場合は、I. Introduction, II. Materials and Methods, III. Results, IV. Discussion, V. Conclusion, VI. References, VII. Legends の順とする。なお、英文の場合は下記の要件を満たすこと。

(1) 両端揃えしない。

(2) フォントはTimes New Roman を使用し、12ポイントとする。

4. 挿図・表・写真原稿

挿図原稿の、図の文字や数字および写真は、そのまま写真製版に耐えられるように鮮明なプリントで作成する（表は組み直しとなる）。オリジナルの製図、X 線フィルム、その他の資料の大きさは、203×254 mm（8×10インチ）を超えてはならない。出版のために縮小されても、それぞれの項目が読みやすいように、文字、数字、そして記号は明瞭にし、全て十分な大きさにする。

図・表は、本文とは別に、Microsoft-PowerPointで一括する。

図・表の題名と説明文は図一覧表、表一覧表の形式にして、本文の文献の後にそれぞれ記載する。

総説と研究論文の場合は、題名と説明文は英文であることが望ましい。題名は図の下、表の上に入れる。本文原稿の欄外に、図・表の挿入箇所を明示する。

人物の写真を使う場合は身元が絶対に判明しないようにするか、掲載許可を得る必要がある。既に図が発行されている場合には、出典を明らかとするか、資料を再度用いることに関して著作権者からの掲載許可を得た旨記載する。

なお、上記の挿図原稿作成方法の他に、本文中に挿入も可とする。

5. 倫理的事項

投稿者らは「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成26年8月26日文科科学大臣決定）」を遵守する他、投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、必ず「方法」の項に研究対象者や実験動物への倫理的配慮をどのように行ったかを記載すること。ヒトを対象にした研究は、ヘルシンキ宣言に則り、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文科科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」、「順天堂大学スポーツ健康科学部・大学院スポーツ健康科学研究科研究等倫理要綱」等を遵守して、所属機関または本学の倫理審査会等の承認を得て行われた研究でなければならない。また、その承認番号等を記載すること。動物を用いた研究についても「研究機関における動物実験等の実施に関する基本指針（平成18年文科科学省告示第71号）」、「順天堂大学動物実験等管理規則」等を遵守し、所属機関または本学の動物実験委員会等の承認を得て行われた研究でなければならない。また、その承認番号等を記載すること。

6. 謝辞等

謝辞等は、本文の末尾、利益相反の前に入れる。

7. 利益相反 (Conflict of interest)

著者は論文に関する利益相反状態を、謝辞の後、文献の前に明記すること。該当しない場合は、「本研究に関して、開示すべき利益相反関連事項はない」等と記載する。

8. 注記

本文中の注記は原則として認めない。やむを得ず必要な場合は本文中に注番号を付記し、本文の後、謝辞の前に置く。

9. 文献

文献は本文に用いられたもののみを収める。本文中には、引用箇所か著者名の右肩に末尾の文献番号および片括弧をつけて、¹⁾ のように表す。

文献は、下記の要領に従って作成し、最後に和文および英文のものをあわせて著者のアルファベット順にならべ、番号（文献番号となる）を付ける。文献は本文とは別紙（別頁）とする。

著者は全ての著者名を列挙する。共著の場合、和文ではコンマ（,）、英文では（and）で続ける。ただし、英文で3名以上の場合にはコンマ（,）でつなぎ、最後の著者の前だけに（and）を入れる。

(1) 雑誌論文の場合 (For articles in periodicals)

文献番号、著者名（西暦発行年）表題。雑誌名（略誌名）、巻数または号数、始頁-終頁（通巻頁数をつけている場合は月と号数は省略してよい）。

1) Sudo, M. M. and Kiritani, S. (1991) Production and perception of stress-related durational patterns in Japanese learners of English. *J Phon*, 19, 231-248.

2) 菅波盛雄, 廣瀬伸良, 中村充, 前川直也 (2001) 日本人男子柔道選手の欧州大会における敗退要因について. *武道学研究*, 34 (2), 13-21.

(2) 単行図書の場合 (For a book by one or more authors)

文献番号、著者名（西暦発行年）書名（版数、ただし初版は省略）。発行都市、発行所、始頁-終頁（全体として引用する場合には頁数を明記しなくてもよい）。

1) 青木純一郎 (1999) サイクリング・エクササイズ. 東京, 大泉書店, 88-95.

2) Knowles, G. (1985) *Rhythm of English syllables*. London, Academic Press.

(3) 叢書の1巻や編書（分担執筆）の場合 (For articles in a book containing a collection of articles) 文献番号、著者名（西暦発行年）表題。編者名、書名、巻数、発行都市、発行所、始頁-終頁。

1) 神原直幸 (2003) スポーツ・ジャーナリズムの諸問題. 武市英雄, 原寿雄編, 叢書現代のメディアとジャーナリズム1 グローバル社会とメディア, 東京, ミネルヴァ書房, 83-105.

2) Pinson, D. B., Lively, S. E. and Longman, J. S. (1994) Perceptual learning of nonnative speech contrasts: Implications for theories of speech perception. In Goodman, J. C. and Nusbaum, H. C. (Eds.), *The development of speech perception: The transition from speech sounds to spoken words*, Massachusetts, MIT Press, 351-362.

(4) 翻訳書の場合

文献番号, 原著の著者名 (西暦発行年) 書名, 発行都市, 発行所, 翻訳者 (西暦発行年) 翻訳書名, 発行都市, 発行所, 始頁-終頁 (全体として引用する場合には頁数を明記しなくてもよい) .

1) Hill, N., Brierley, J. and MacDougall, R. (2003) How to measure customer satisfaction. 2nd ed., Burlington, Gower, 野川春夫, 瀬尾美貴訳 (2005) 成功する顧客満足度の測り方, 東京, サイエンティスト社, 100-205.

(5) WEBサイトの場合

文献番号, 著者名 (西暦発行年) WEBページの題目. WEBサイトの名称, URL, (参照日) .

なお, WEBサイト上の資料は, 他に参照可能な公刊物 (書籍や学術雑誌等) がないことを確認したうえで用いること. 西暦発行年については, 発行年が特定できない場合にはonlineとする.

1) 日本スポーツ協会 (online) スポーツ少年団運動適性テストⅡ. 日本スポーツ協会, <https://www.japan-sports.or.jp/club/test/tabid623.html>, (参照日2022年12月1日) .

2) Japan Sports Agency (online) Introduction to Sports Agency. Japan Sports Agency, https://www.mext.go.jp/sports/en/about_us/index.htm, (Accessed 2022-12-1).

10. 英文校閲

英文の原稿 (英文抄録を含む.) を投稿するときには, ネイティブスピーカーの校閲を受けたことを証する書面を提出しなければならない (様式任意) . 英文校閲者については, 当該原稿の研究内容を理解できる者であることが望ましい.

VI. 投稿

投稿は, 電子投稿のみとする. ① 編集委員長宛のカバーレター (論文の概要やアピールポイント, 総説および研究論文は査読候補者2 名の名前と所属, メールアドレスを明記) , ② Microsoft-Word形式の原稿, ③ 図表に関するMicrosoft-PowerPointファイル形式, ④ ②と③の各ファイルのPDF形式, ⑤ チェックリスト, ⑥ 順天堂スポーツ健康科学研究研究論文等投稿に関する誓約書を送信する.

1. 提出

1) 原稿は, 以上に定める形式に合致していることを確認の後, 下記宛に送付する.

〒270-1695 千葉県印西市平賀学園台1-1

順天堂大学スポーツ健康科学部

「順天堂スポーツ健康科学研究」編集委員会 委員長

メール提出: jhss@juntendo.ac.jp

2) 投稿前に共著者のチェックを受けていなければならない.

3) 論文の体裁が不十分と編集委員会が判断した場合には, 投稿を受け付けないことがある.

2. 原稿無返却

提出された原稿は原則として返却しない.

3. 査読

提出された原稿のうち、総説および研究論文は2名の審査員による査読を受ける。

編集委員会は査読者を決定し、その審査結果を踏まえて最終的な採否を決定する。

編集委員会は原稿内容の修正および「原稿の区分」の変更を審査過程において著者に求めることがある。

編集委員会からの通知により修正等を求められた著者は、その通知から2カ月以内に修正原稿を再提出しなければならない。その期限を過ぎてからの投稿は「新規投稿」として扱う。なお、健康上の理由や業務などを理由とした長期の不在等、特段の考慮すべき事情のある場合は、著者は修正の遅延の理由と提出予定日を編集委員会宛に連絡しなければならない。編集委員会は理由や期限について検討し、遅延の可否について判断する。

4. 最終原稿

最終原稿は、Microsoft-Word形式の原稿と図表に関するMicrosoft-PowerPointファイル形式を上記のメール提出先に送信する。

5. 校正

校正は著者が行うものとし、初校のみとする。校正は、原則として誤字、脱字の有無のチェックにとどめるものとする。

6. 別刷り

別刷りは有料とする。

7. 著作権

本誌に採録されることとなった論文その他の著作物の著作権の取り扱いは、別に定める「順天堂スポーツ健康科学研究著作権規程（以下「著作権規程」という。）」によるものとする。著者は、最終原稿提出時に著作権規程第5条に定める「著作権譲渡に関する同意書」を提出しなければならない。2026年以前発行の本誌に掲載された著作物を利用する場合には、事前に「順天堂スポーツ健康科学研究著作物利用許可申請書」を順天堂スポーツ健康科学研究編集委員会へ提出し、当該著作物に係る利用許可を得てから利用しなければならない。利用許可の審査は、別に定める「順天堂スポーツ健康科学研究著作物利用許可審査内規」によるものとする。

8. オープンアクセスポリシー

本誌は17巻1号よりオープンアクセス誌であり、論文その他の著作物はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス (<https://creativecommons.jp/licenses/#licenses>) の条件のもとで掲載される。ライセンスの範囲内で二次利用を認める。著者は、「著作権譲渡に関する同意書」に、希望するクリエイティブ・コモンズ・ライセンスを明記する。

9. 各種様式

各種様式は、順天堂スポーツ健康科学研究編集委員会ホームページ

(<https://www.juntendo.ac.jp/about/org/library/sakura/research/index.html>)からダウンロードするか、事務局にリクエストして作成する。

(2003年 9月19日一部修正)

(2009年 9月28日一部修正)

(2011年 9月16日一部修正)

(2012年 5月8 日一部修正)

(2013年 7月9 日一部修正)

(2018年 5月1 日一部修正)

(2019年11月7 日一部修正)

(2020年 4月1 日一部修正)

(2021年10月1 日一部修正)

(2022年12月1 日一部修正)

(2023年11月2 日一部修正)

(2024年 5月2 日一部修正)

(2026年 1月15日一部修正)